

## 高蔵寺未来プラン策定・小学校跡地活用検討が本格化 住民がいつでも意見・提案できる場を

9月1日付春日井市広報に「高蔵寺ニュータウンの未来について考えよう」の見出しで、「旧藤山台東小学校施設の改修設計」と「高蔵寺ニュータウン未来プラン策定」の二つのワークショップ開催案内と参加者募集の記事が掲載されました。これに先立ち7月9日には、住民傍聴のもと「第1回高蔵寺未来プラン策定検討委員会」も開催され、いよいよ本格的な検討が始まったことを感じます。「どんぐりs」としてもこうした検討結果が実を結び、高蔵寺ニュータウンの再生につながることを期待し、積極的



氷山(南極)

森 健

に関わっていきたいと考えているところです。

言うまでもないことですが、“まちづくり”の主体は住民です。従って、如何にして住民のエネルギーを引き出すか(出せるか)に、その成否がかかっていると言ってよいと思います。そのためには「知らなかった」、「言う機会が無かった」ということの起きないように配慮、つまり広報と広聴が肝要です。とりわけ広聴については、「未来プラン策定検討委員」の一般公募枠は、全委員13名中にわずか2名でしたし、また、来年の3月末の策定に向けて「住民参加ワークショップ」(9月下旬)、「住民説明会」(11~12月)、「パブリックコメント」(2~3月)が予定されていますが、具体的な内容・進め方が示されていないだけに、形式だけの「住民参加」になるのではないかと懸念します。そうならないように、改めて住民へのきめ細かい情報提供と住民からの意見聴取に配慮するとともに、形式にとらわれず、いつでも誰でも意見や提案ができるような「場」を設けることを春日井市に求めたいと思います。(藤城 榮一)

どんぐりsから

●前回触れた「高齢者・すまい相談」のチラシができあがりました。東部市民センターや東部ほっとステーションに置いてあります。是非、手に取ってご覧いただきたいと思っています。

●そのチラシに載っている相談事例の内「介護サービスを受けたいが、どうしたらよいかわからない」、「一人暮らしなので、毎日の生活が不安」などを目にされて、これがすまいの相談?という疑問を持たれる方がおられるかも知れません。私たちどんぐりsは、すまいを「生活

(暮らし)を包む器」と考えています。安全性や快適性もさることながら、誰と、どこで、どんな生活(暮らし)をするのか(したいのか)、という問題や悩み相談にも対応できるように、専門相談員をおくなど準備をしています。

●9月のどんぐりsカフェでは、多くの方が直面するであろう介護の問題とリフォームについて皆で考えます。この「ふれあいだより」の裏面に開催要領があります。多数の方のご参加をお待ちしております。(藤城 榮一)

## 高森台県有地活用で住民アンケート 高い参加意識を裏付け

「高森台県有地の活用を提案する市民の会」では6月から7月にかけて、周辺住民1,000名を対象にアンケートを実施した。その結果、321名の方に回答をいただくことが出来た。この調査は公益財団法人「あいちコミュニティ財団」の「2015年、あいちの課題深掘りファンド」事業に採択され、調査に当たっては南山大学ビジネススクールのサポートを受けて行われた。

生活環境への評価では、自然や住いに関して満足度は高いが、住民間の交流や足の問題、福祉施設などでは不満度が高かった。県有地の存在を知っている方は70%。しかし福祉施設がす

私の朝・昼・晩

### 選挙制度のトリック

8月30日、主催者発表で12万人という東京をはじめ、全国で「安保法案反対」の大規模なデモがありました。海外では、日本人が政治に目覚めたと話題にもなったほどです。憲法学者や多くの知識人が「憲法違反」だと反対しているにもかかわらず、政府・与党は強行採決するようです。

しかし、昨年の中議院選挙を振り返ってみると、投票率は52.66%。さらに政党の得票率を見ると、自民党33.1%、公明党13.8%、与党合わせても46.9%しかありません。結局、国民の4人に1人しか与党に投票していないわけです。その与党は、衆議院475議席の内326議席の圧倒的多数を占めています。占有率は、68.6%になります。その議席数に物を言わせて、多くの市民が反対しているにも関わらず、「安保法案」や「原発再稼働」を行おうとしています。民主主義は、最後には多数決で決するという事は理解できますが、このような、選挙争点にもなっていない個別の問題で、投票した議員に白紙委任したつもりはないというのが、多くの市民の感覚ではないでしょうか。 (片山 繁行)

でにあることや、建設中の施設については65%の方が知らないと答えている。未利用地の活用をどのように進めたらいいかとの問いには、実に249名、77.6%が「行政と市民との協働」が望ましいと答えている。またどんな施設が望ましいかとの質問に高齢者は「福祉施設」を挙げ、若年層は「福祉以外の施設」と回答。年代により差異が認められた。

一方敷地の一部で「花と緑のまちづくり活動」を提案したところ、その効果は環境整備だけでなく、住民間のコミュニティ形成、多世代間交流など、多方面での効果があるとの回答が多かった。このような活動に参加したいとの方が95名（回答者の約1/3）にも上り、参加意識の高いことが裏付けされた。 (寺島 靖夫)

◆1時間半で塩焼きアユ完売 8月8日、「押沢台町内会夏祭り」に「どんぐりs」も参加。昨年は雨に泣いて不参加だったが、今年は鮮度抜群のアユ200匹と冷えた発泡酒150本を用意してお客さんを待った。アユを焼いたいい香りが漂い、開始から1時間半の7時頃にはアユは全て完売。「もうないの?」というお客さんがその後絶えなかった。

◆楽農会会員の畑にイノシシ 玉野の楽農会会員の畑にイノシシが現れました。サツマイモやサトイモ、またスイカ等を手当りしだいに食い荒らし、甚大な被害が発生しています。足跡から見ると60キロくらいのオスとのことで、玉野の農業組合は、春日井市農政課と相談し、檻や罠をしかけること等、対策を練っています。会としてもこれ以上の被害を食い止めたく、見まわりたいのですが、夜行性のため手の打ちようがなく悩んでいます。

### 9月の「どんぐりs」カフェ

- テーマ；介護とすまいのリフォーム事例報告
- 報告者；長谷川・山上・藤城・片山  
(高齢者・すまい研究会会員)
- 日時；9月19日(土) 13:30~
- 会場；東部ほっとステーション  
(サンマルシェ南館1階) 参加費無料

### 9月の「高齢者すまい相談会&ティーサロン」

- 日時；9月13日(日) 13:30~16:00
- 会場 東部ほっとステーション
- 問い合わせ先；080-4540-3553